

山 本 芳 照 議員



職歴、民間企業の経験

についてお聞きしたい

問

市長は大変立派な職歴で、民間企業で培った豊かな経験を生かし、地方分権社会での行政運営で、市政の活性化に生かされることを、私は、期待している。

市長の今日までの、企業における経験について伺いたい。

店長、商品

部長等を経験

答 市長

株式会社ユニーに昭和46年の春に入社し、店舗の経験が長く店長、それから商品部長等の経験をした。株式会社ユーストアにおいては、平成5年から15年まで勤務し、店舗の店長および商品部長の経験をした。

団体・組織と距離を置くこの意味は

問

中日新聞のインタビューで、さまざまな団体、組織のしがらみから一定の距離を置く、こういう発言はどのように受け止めたらいいのか聞きたい。

選挙活動の中のことである

答 市長

私は、一定の距離を置くというのは、選挙活動の中で、現在の組織、団体等について、行政のこういう立場において、線を引くものではない。

問

あくまでも選挙期間中の話であって、今後この弥富の中に、多くの組織、団体があるが、それらの組織、団体については別にしながら何も無いし、一定の距離を置くことも無い、という考え方でよいのか。

答 市長

弥富の行政を支えて、協力してもらう、という形の中に団体、あるいは組織というものが存在するわけであり、私どもはこれから進めていく19年度以降の行政の中では、大変大きな力になってもらえると思っている。

あくまでも、一線を引くというのは、選挙の私的な関係における問題である。

市政代表者懇談会の意見・要望は

問

昨年の11月に実施された市政代表者懇談会の中で出

された、意見、要望がこれからの市の総合計画の中に盛り込まれるが、急を要する中身の話も、結構出ていたので、その後、これらの出てきた意見、要望等について、どのように整理がなされているのか。

総合計画の提言と位置付ける

答 企画情報課長

市政代表者懇談会の参加者からの提言は、大変貴重なもので、市長、助役をはじめ、市幹部の共通の財産とし、現在、その構想について検討している。

これをもって、総合計画の中の提言として位置付けていきたいと思っている。

また、この提言については、総合計画審議会等にも諮りながら、今後、作業を進めていきたい。